

いちのせきから ストップ温暖化

いちのせきから
ストップ温暖化 第3号

いちのせき100万人のキャンドルナイト

～あの「STGM(ステゴマ)」もやってきます!～

昨年大好評だった大町周辺でのキャンドルナイトが、今年さらにパワーアップして開催されます。



また、岩手県出身で10月にメジャーデビューを果たしたSTGM(ステゴマ)のライブも行われます。キャンドルのやさしい光に包まれながら素敵な音楽を聴いてみてはいかがですか?

- 日時 平成20年12月20日(出) キャンドル点灯は午後4時から
- 場所 大町通り
- 主催 いちのせき市民活動促進会議インアーチ
- 【ライブイベント】
- 日時 同日午後6時30分スタート(午後6時開場)
- 場所 Point1(大町:旧マスタ)
- チケット 前売り¥1,000 当日¥1,200 (ドリンク代 別途¥500)
- 出演 ココロネ(青森県)、ステゴマ(岩手県)
- 問合せ 26-6400(インアーチ)
- ※まさとも(一関市)のフリーライブ 入場無料 Point1にて同日午後4時30分スタート

上映会のお知らせ

「ツバル 大切なものに導かれて」

地球温暖化の影響で水没の危機に瀕している、南太平洋に浮かぶ島国ツバルの現在を捉えたドキュメンタリーです。

- 日時 平成20年12月20日(出) 上映時間60分
- 第1回目 13:00～
- 第2回目 15:00～
- 第3回目 17:00～
- 第4回目 18:00～
- 場所 旧コミュニティルーム colors(大町) ※「まちなかシネマ」の看板が目印です。
- 入場料 無料
- 問合せ 090-8780-9018(高橋)

使用済みてんぷら油の回収場所が増えました!

いちのせきeco(エコ)油田開発プロジェクト

～てんぷら油で車が走る!～

市では、現在、職員や市民のみなさんの家庭から出される使用済みてんぷら油をリサイクルし、市役所の車の燃料として使用しています。

この燃料はバイオディーゼル燃料と呼ばれ、ディーゼルエンジンの車や農機具などで使用でき、軽油よりも安く、二酸化炭素を出さない環境にやさしい燃料です。このたび市では、市民のみなさんからの要望を受け、市内全域で「使用済みてんぷら油回収ステーション」を設置することといたしました。

使用済みてんぷら油をリサイクルすることで、川の汚れを防ぎ、ごみを減らすなど環境面でも優れた取り組みですので、市民のみなさんのご協力をお願いします。

【使用済みてんぷら油の回収方法】

家庭で使用済みとなった食用油を、ペットボトルなどの容器に濾して入れ、回収場所に持参して下さい。(容器ごと回収します)

施設の開館時間内であればいつでもお持ちいただけます。

(花泉地域については、別途詳細をお知らせします)

【使用済みてんぷら油回収ステーション】

一関地域(12箇所) 本庁生活環境課、公民館(一関・山目・中里・狐禅寺・巖美・秋荘・舞川・弥栄)、新鮮館おおまち(大町)、レスパイトハウス・ハンズ(青葉町・赤荻)

花泉地域(8箇所) 花泉支所、公民館(永井・涌津・油島・花泉・老松・日形・金沢)

大東地域(7箇所) 大東支所、公民館(大原・摺沢・興田・猿沢・渋民・曾慶)

千厩地域(5箇所) 千厩支所、公民館(千厩・小梨・奥玉・磐清水)

東山地域(4箇所) 東山支所、公民館(東山・田河津・松川)

室根地域(2箇所) 室根支所、室根公民館

川崎地域(2箇所) 川崎支所、川崎公民館

てんぷらカー
快走中!



【平成20年5月から11月末までの実績】

- 市役所でのてんぷら油回収量 88ℓ
- てんぷらカーへのバイオディーゼル燃料給油量 333ℓ
- 二酸化炭素削減量 およそ879kg-CO₂
- てんぷらカーの燃費 8.0km/ℓ(軽油使用時:8.2km/ℓ)

編集後記

3時間に亘る編集会議を終えた私は、一人、凍てついた星降る夜道に、燃費の悪い7人乗りのワンボックスカーを走らせる。
“今夜も皆で真剣に地球温暖化防止について話し合ったな”と振り返りながら、会議の内容とは裏腹な、こんな自分の行動にジレンマを感じている。それでもエコドライブを心がけ、夫と愛犬の待つ薪ストーブで暖められたわが家へ帰っていくのでした。(徳谷喜久子)

～新たに会員が増えました～

有限会社尾形建設(千厩町小梨)

企業・団体 24
個人会員 54
(平成20年11月1日現在)

『一関地球温暖化対策地域協議会』

会員募集!

みなさんのアイデアを活かしてみませんか?

- 入会方法・お申し込みは事務局まで(21-8342)
- 年会費 個人500円、企業・団体一口5,000円

投稿欄

「北上川の“ゼエイ”」

10月の川崎地区での地球温暖化に関する勉強会で、今と昔についてのフリートークがあり何人かが北上川に冬季“ゼエイ(ザエイ)”(雪が凍り流れ成長した物、氷が岸から離れ流れ出した物)が流れるのを見なくなったと発言した。私も川一面に氷が張り人が歩いて渡ったと発言したが、私がそれを見たわけではなく母から聞いた話である。母は少女時代その光景を目撃し、私はそのことを受け売りの話。川が大橋の下で全面結氷したのは何度か見ている。

さて、人が歩いて対岸まで渡った話は嘘ではいけないと諸先輩方から聞いたところ、渡った人がいるとの答えだった。氷が割れると命はないので親からは厳重に注意されたようだ。“ゼエイ”は非常に寒い日が何日か続くと見られる。私の記憶では昭和50年代後半くらいまでは毎年寒中には見られた。全面結氷する様子は“ゼエイ”がたくさん流れてきて岸や岩場に重なりあい成長してやがて川の中ほどでつながるようだ。

“ゼエイ”も流れなくなり川が全面結氷する日も無くなり温かい冬が続くのは生活するには大歓迎なのだが、このことも地球温暖化の影響だろうか。

(藤江元さん/川崎地域在住)

お詫びと訂正

広報「eco」第2号(9/15日号)の3ページ「環境への取り組み紹介②」の記事中、(株)岩手暖炉さんの電話番号が間違っておりました。お詫びして訂正いたします。

(正) 電話 019-641-4288

日本がめざす低炭素社会とは?

～二酸化炭素(CO₂)の排出を限りなく小さくする社会～

進行する温暖化

10月10日に当協議会主催の「地球温暖化」学習会で川崎公民館に集まった市民の皆さんから「北上川が凍結し、対岸に歩いて渡ることができた」、「雪さえ払えば、わら靴が暖かくて良い履物だった(湿雪ではなく平地でもパウダースノーだった)」など、昔の冬の暮らしぶりを教えていただきました。

しかし、この2つは一関の今の冬からは全く想像できない光景です。そして、世界に目を転ずればヒマラヤの氷河は年々後退し、北極の海氷は科学者達の予想以上に速く減少しています。温暖化は予測される未来の話ではなく、現在進行中の事なのです。

大気中のCO₂濃度が年々上昇していることによって温暖化は加速され、防止するには人類が排出しているCO₂を半減させ、自然が吸収できるレベルまでに抑制する必要があります。日本は先に発展した国として、より厳しい責任を受け持ち、現状から60～80%の削減を掲げて、CO₂排出を最小化する低炭素社会の構築を進めなければなりません。



株式会社ユーラスエナジー釜石 釜石広域ウインドファーム 「転用禁止」

国の政策

90年比CO₂-6%の京都議定書の目標を達成することは無論、世界に誇れる低炭素社会を構築するために政府が進めている中・長期の政策は次の通りです。

1. 技術開発と先進技術の普及

60～80%削減を実現するためには①未だこの世にない革新的な技術開発②太陽光、風力、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの利用拡大③省エネ住宅、省エネ電球やヒートポンプなどの普及

2. 低炭素化へ動かす仕組み作り

①CO₂に取引価格を付け市場メカニズムを活用し、削減努力を誘導する排出量取引②環境税などグリーン税制の導入③消費者が的確な選択を行うためのCO₂排出の「見える化」による情報提供

3. 地方の特性に応じた取り組み

地方が先導役を果たしながら、食料自給率を高め、森林を育成し、新エネルギーを導入して、食糧もエネルギーも地産地消型へ

4. 国民の役割の低炭素化

国民一人ひとりが演じ手となり、知り、新しい社会を描き、行動し、そして伝え広げることが大切で、そのリーダー役となる先導者の躍動感あふれる取り組みを支援・拡大

IELからのメッセージ

温暖化をはじめとする地球環境問題は人類の生存基盤を脅かしかねない最大の試練です。この試練を乗り越え、低炭素社会を構築して次世代にこの恵み豊かな地球を引き継ぐことができるかどうかは、今を生きる私達の決断と行動にゆだねられています。

平成20年12月15日発行
発行責任者/一関地球温暖化対策地域協議会

問合せ/一関地球温暖化対策地域協議会事務局(一関市市民環境部生活環境課)
住所:〒021-8501 一関市山目町7-2 電話:0191-21-8342 FAX:0191-21-2164
Eメール:sakai@city.chinoesaki.iwate.jp
ホームページ http://www.city.chinoesaki.iwate.jp/index.cfm/8/0/121.html
印刷/ト/印刷局
掲載にやさしい再生紙とフロンを使用しています。



「フード・マイレージ」

「フード・マイレージ」とは、食料の輸送量に輸送距離を掛け合わせ、トン・キロメートルで表したものです。そのフード・マイレージが世界一大きな国が日本なのです。フード・マイレージが大きいということは、食料の輸送に大量の化石燃料を使い、多くのCO₂を排出していることになりま

す。このことから私たちは、「地産地消」をさらに進め、食料の生産にも投入エネルギーが少ない「旬産旬消」を心掛けていく必要があります。

日本のフード・マイレージの特徴

1. 諸外国に比べてかなり長距離を輸送していること
2. 特定の品目の構成比が大きいこと

平均輸送距離は15,396kmで、おおよそ日本からエジプトまでの距離になります。また、輸入食料の主なものや大豆やなたねのような油糧種子であり、約7割を占めています。輸入相手国は日本から1万8千キロ離れたアメリカやカナダ、オーストラリアがほとんどです。

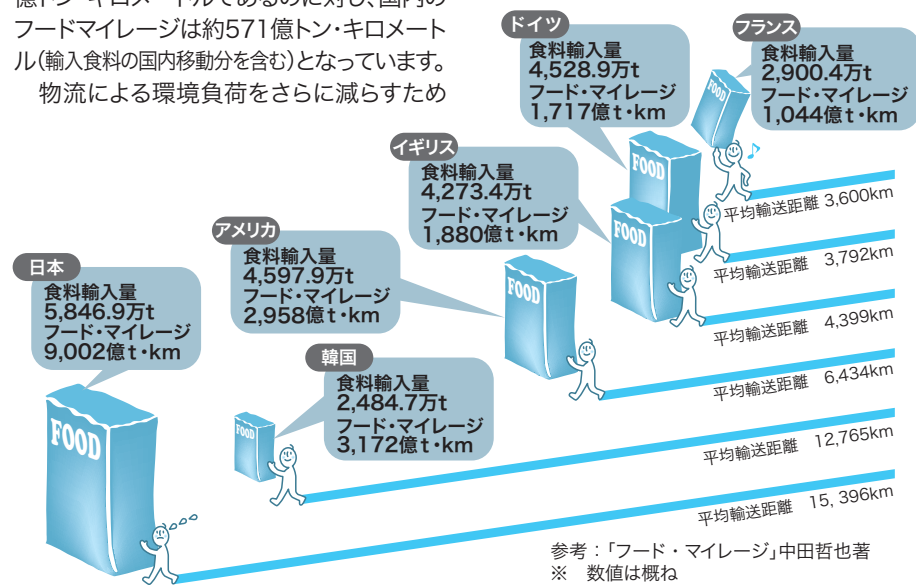
これらの輸入穀物は、国内で生産するよりも安価だという理由で、遠く離れた海の向こうの国から運ばれてくるのです。それは、私たちの食生活のパターンの大

きな変化に対応した食料輸入の大幅な増大となり、国内農業の衰退の一因となっています。

欧米各国では、輸入に依存することなく自国で生産できない品目のみを輸入しており、日本も見習うべきことが多いのです。

国内のフード・マイレージ

輸入食料のフード・マイレージが約9,002億トン・キロメートルであるのに対し、国内のフード・マイレージは約571億トン・キロメートル(輸入食料の国内移動分を含む)となっています。物流による環境負荷をさらに減らすため



には、トラックなどによる輸送から、より効率的な大量輸送機関である鉄道、海運への転換を図る必要があります。

「食べる」という行為は極めて個人的な行為ですが、このことが地球環境に影響を及ぼしているのは明らかです。従って環境負荷の小さな「食」のあり様を実現していくためには、生産から流通、消費、廃棄までを捉えなければなりません。

「すごい、私もやってみようかな」

—CO₂ダイエット日記の取り組みを報告—

10月17日、当協議会主催で開催された交流会は県内から50名ほどの参加者がありました。最初に県の地球温暖化防止活動推進センターから、県内の取り組み状況の報告がなされ、その後、両警でダイエット日記に取り組んでいるおよそ140名の中から10名による実践の報告がなされました。「10年間の取り組みでCO₂排出量をほぼ半減した」「思い切って太陽光パ

ネルを取り付けてみた」「市民みんなで取り組むべき」「住宅を快適にしたら思いのほか排出量が増加した」などなど予想しなかった報告もあり、大いに参考になりました。また、今後継続して取り組んでいくための仕組みの改善点の指摘なども。山形県庄内町の地球温暖化対策地域協議会の工藤会長からは、庄内町における町ぐるみの節電の取り組みの事例発表がなされ、その後の懇親会でも参加者全員から交流会の感想が述べられました。



北上製紙株

段ボール原紙、新聞用紙を主要な製品として製造販売をしている会社です。その原料の95%は古紙を利用しています。あらゆる古紙のリサイクルに積極的に取り組んでいます。

環境に配慮した製品として古紙100%を原料とした「白い紙ひも」も製造販売しています。従来古紙を結ぶときに使われていたポリひもは廃棄物として焼却処分され、その際CO₂が発生します。紙ひもは古紙といっしょにリサイクルされ紙に再生されますので、CO₂の発生を減らすことができます。

また、機密書類のリサイクルにも取り組んでいます。これまではほとんどがシュレッダーされ焼却されていましたが、手間がかかるうえ、なにより焼却の際に多

環境への取り組み紹介③

量にCO₂が発生します。この問題を解決するため「機密書類リサイクル・システム」を開発し運用しています。機密書類

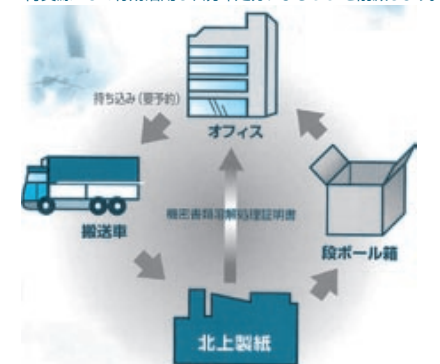
- ①持ち運びが便利になりました!
- ②選別不要、紙ひもも新聞紙・雑誌・ダンボールと一緒にリサイクル。
- ③すべらないので女性でも簡単。
- ④ご希望によりプライベート品(PB)も作成できます。



紙ひもに関するお問い合わせ ☎26-1994

の安全・確実な処理は環境にやさしい弊社のリサイクル・システムをぜひご利用ください。

再資源として有効活用し、焼却処分によるCO₂を削減します。



♪えん〜りよはいらない〜から〜あなたまで ゆきなよ〜♪

森進一が歌う襟裳岬の一節です。私も寒い時の来客はお茶よりも先ずストーブに薪をくべるところから始まります。それが一番のもてなしなのです。

薪ストーブとの出会いは20年以上前、仙台から一関に来て店舗をつくる時に先輩だった設計師のお宅にそれは据え付けてありました。それから20数年を経てこの地、弥栄に美容室と住居を構えることになり、当たり前のように「薪ストーブにしよう」と決めていました。舞川の知人から「家にあるから見においで」と誘っていただき、ストーブを扱っている方も紹介され、完成した店舗に薪ストーブがやってきました。

薪ストーブのある生活は、ファンヒーターやエアコンと違い周りに人が集まってくるのです。薪の燃える炎や音、柔らかい暖かさ、香りが人を引きつけるようです。数百万年前の古代から焚き火で暖をとったり、獣から身を守ったり、獲物を焼いて食べたりして暮らして来たその記憶が私たちにも残っているのでしょうか。焚き火の周りに大人も子どもも集まるように、炎は人を引きつける魅力を持っています。

我が家では住まいの部分は石油を焚いていましたが昨年からは薪ストーブを試みました。店舗は性能の良い鋳物のストーブでしたが、住まいのほうはそれほどの予算がとれませんでした。

日曜大工で6帖の和室を洋間にし、トタンのストーブと煙突、床に敷く防火材で計3万円強

薪ストーブの魅力



の薪ストーブの生活が始まりました。

結果は惨憺たるものでした。最初は1週間に1度の煙突掃除が2回になり、そのうち煙突全体にタールがこびり付き掃除そのものが出来なくなり、家の中は煙でモクモク。それが原因で女房とも険悪になりこのストーブ生活は終わりました。

しかし、少しの間の快適な生活が忘れられず改造を試みました。この改造はうまく行き、又薪の生活に戻ってきました。いつもお湯が沸いている鍋も乗っていてガスの使用量も少なくなりました。加えて昨年はお風呂も薪が使える釜に換えました。

さて、CO₂の削減効果はどうでしょうか?我が家の特殊事情として生活と営業の合算の数値しか調べられません。直近の一年間とそれ以前の一年間を比較しました。石油はなんと

53%減、半分以下になりました。ガスは6%減。CO₂換算で1,448kgの削減になりました。前号では岩手県の世帯平均の二酸化炭素排出量が年間7.1トンと紹介されていましたが、我が家の排出量は営業分と合算しても7.08トンと県の平均と同じでした。暖房と風呂が薪なのが大きな理由でしょう。そのほかの工夫もあり、ロハス(健康で持続可能なライフスタイル)な美容室として専門誌の特集で全国で紹介されたこともありました。

快適で環境にやさしい薪の生活をみなさんもいかがでしょうか。日曜大工でのストーブの改造や設置は火災に十分注意し、不安なときは業者に依頼して下さい。(薄井次次 リゾート美容室「髪髪」経営)

国から補助金を受けることになりました! ~薪・ペレットストーブ購入への補助~

当協議会では、薪・ペレットストーブの購入を考えている市民の方々を取りまとめ、国に対し補助申請を行いました。

その内容は、薪ストーブなどを地域でまとめて導入する場合、費用の3分の1(上限20万円)を補助するというもので、今回は14件分、総額2,759千円の補助金を申請し、この度内示を受けました。

協議会では来年度もこの制度がある場合、広く市民の皆さんから募集を募り申請したいと考えています。

詳しいことは、広報や新聞等でお知らせする予定です。

●問合せ 21-8342(事務局:一関市生活環境課)

持続可能な「もう一つの世界」 ~環境講演会を開催しました~

「社会に出る子どもたちに、一本のレールだけを見ないでほしい」「いくつもの『もう一つの世界』がある」と、8月31日、当協議会主催で開催された環境講演会において、千葉大学准教授の上村雄彦さんは多くのメッセージを残しました。

上村さんの中3の夢「国連職員になること」は1994年、29歳で実現しました。しかし途上国で見たものは、栄養失調で亡くなる子どもが3秒に1人、1日3万人という現実。枯れた大地のすぐ脇のオアシスで作る輸出用(換金)作物は子どもの口に入らず輸入大国日本へ。その現実を「日本人に伝える!」と国連を辞めました。

市民に、学生に伝え続け、今年は国際連帯税議員連盟の研修で講師を務めています。

※国際連帯税(グローバルタックス)、地球環境税、国際炭素税など「国際活動による負の影響を抑えながら税を途上国に再配分するしくみ」に日本も取り組む事が検討されています。

- 本『世界から貧しさをなくす30の方法』『おカネで世界を変える30の方法』合同出版(田中優ほか共著)など講演会のDVDあります。
- 問合せ 21-8342(事務局:一関市生活環境課)



みんなで地球温暖化を 考えてみませんか?

~第2回 学習会開催のご案内~

各地域の方々と一緒に「地球温暖化」を考える学習会です。地域の公民館を会場にみなさんと学習を重ねていきたいと思ひます。だれでも参加できる気楽な会をめざしていますので、会場に近い方も遠い方も参加をお待ちしております。

- 日時 平成20年12月16日(火) 午後6時30分から午後8時30分
- 場所 油島公民館(花泉町油島)
- テーマ 「私たちの地球温暖化」 …いろいろな団体や企業から見た温暖化対策をみんなで一緒に考えていきます…
- 話題提供 (株)バイオエスコート 永洞義昭氏 クリーンセンター花泉(有) 吉田重弘氏
- 主催 一関地球温暖化対策地域協議会
- 問合せ 21-8342(事務局:一関市生活環境課)